



平成 29 年 11 月 14 日

各 位

会 社 名 I N E S T 株 式 会 社
代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 上 村 陽 介
(コード番号：3390 東証 JASDAQ)
問 合 せ 先 取 締 役 管 理 本 部 長 片 野 良 太
(TEL：03-6892-3864)

特別利益の計上および業績予想との差異に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 3 月期第 2 四半期において、特別利益を計上いたしましたので、下記の通りお知らせするとともに、平成 29 年 8 月 10 日に公表した平成 30 年 3 月期第 2 四半期(累計)業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

1. 特別利益の計上

平成29年9月22日付「当社元役員による不正行為の疑いに関するお知らせ」および平成29年10月26日付「内部調査委員会による調査の経過について」にて公表しましたとおり、当社は、元役員の不正行為の疑いについて、内部調査委員会による調査を進め、平成29年11月8日付「内部調査委員会の調査報告書受領等に関するお知らせ」にて公表しましたとおり、社内調査の結果、当社子会社から不正に流出したと見なされる資金（以下「資金流出額」といいます。）が総額で160百万円であることが判明しました。

資金流出額160百万円のうち取引先から返金を受けた2百万円を控除した158百万円を元役員に対する求償債権として未収入金に計上するとともに、平成29年9月に元役員から預託された現金60百万円および担保として差し入れられた有価証券65百万円（当第2四半期連結会計期間末時点での時価相当額）の合計125百万円を控除した差額33百万円について貸倒引当金を計上しております。これに伴い、受取損害賠償金108百万円（過年度における不正取引額(税抜)141百万円から、求償債権に対する貸倒引当金繰入額33百万円を控除した金額。）を特別利益に計上するとともに、過年度法人税等25百万円を計上しております。

2. 平成 30 年 3 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想値と実績値との差異

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
直近発表予想(A)	1,000	△170	△172	△182	△3.75
実績値(B)	1,303	△91	△107	△17	△0.35
増減額 (B-A)	303	79	64	165	
増減率 (%)	30.3	-	-	-	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 29 年 3 月期第 2 四半期)	1,522	102	100	156	3.23

3. 差異の理由

当社は、既存事業において従業員一人当たりの生産性の向上および諸経費の削減等を進める一方で、新規事業として予約システム等のソリューションサービスへの先行投資を進めております。第2四半期までのところ、既存事業での販売数が当初見込みよりも好調に推移し、また新規事業にかけるシステム開発費、人件費および顧客獲得に伴い発生する販売促進費を当初見込みよりも低く抑えられたことにより、連結売上高、連結営業利益および連結経常利益は前回予想を上回る結果となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益については、上記1の通り、特別利益を計上したことにより前回予想を上回る結果となりました。

通期の業績予想につきましては、事業環境の変化等により変動する可能性がございますので、前回発表予想を据え置いております。通期業績を見直す必要が生じた場合には速やかに開示する予定です。

以 上